


提出 順番	No. 8	令和元年6月6日 午前・午後9時40分受領
----------	----------	--------------------------

令和元年6月6日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 ふじわら 孟 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
<p>考古館に近世の制作技法を代表し、アイヌの人々も宝物とした歴史的価値のある品を発見。</p>	<p>2018年7月28日・29日、石川県輪島漆芸美術館館長と、新潟上越教育大学大学院教育研究科准教授の2名の方が学術調査のために来館された。調査終了時には、「大きな成果が得られた」という感触が伝わってきた。更に、他の博物館には無い上質な漆器が多数存在するという、重要な指摘をいただいた。そこで、元町議吉田菊太郎氏の考古館創設の志を、幕別町の将来の発展に活かせることが出来ないかという観点で、以下の質問をいたします。</p> <p>① 元徳島藩 蜂須賀家の家紋の付いたナガモチの評価では、「外装の京都産の金具を見ることだけでも一見の価値がある」という高い評価が指摘されたが、その伝来の道や、その製作された年代や製法など、また金糸が用いられた絹布の内貼りの使用部材等の詳細について、さらに調査すべきと考え、伺います。</p> <p>② 昨年夏に来館して調査してくれた2名の先生方に、再度調査を依頼して、炭素年代測定法を含む公式調査報告をもらうべきと考え、伺います。 また、必要な経費はクラウドファンディングの採用を行うべき。</p> <p>③ 蝦夷文化考古館には、ポンクツという「女性用守り紐」が目立つ位置に展示されています。この展示の趣旨・意図は、吉田氏が伝えるアイヌ民族の心、およびその精神性を表すものとして展示されているものと考えることが出来、他では見ることが出来ない貴重な展示となっておりますが、何の説明もなく展示されていることを今後も続けるか、考えを伺います。</p>

④ 平成5年2月に、65点の展示品が盗難にあいました。現状の考古館の管理状況では、資料目録と実際に存在する展示品との間に差異は無いのか、伺います。

また、「十勝アイヌの交易の場面が描かれた大津絵図掛け軸の原本は、札幌の大学が所蔵しているのでは？」という情報を聞きましたが、その真偽について伺います。

もし、所蔵している場合は、早々に返却を願うべきではないか。

⑤ アイヌ新法が5月24日に施行された。アイヌ民族に対する理解への環境が大きく変わりました。今までの考古館の在り方も当然変化すべきである。考古館の改修・トイレの早急なる改善・建築場所の選定・展示方法・観光資源・ふるさと館との関係などについて再検討すべきと考えますが、伺います。